

# 1歳ですよろしく

## 随想

### 「生命の世紀」へ



深沼 静良 (神崎)

1冊の古びた文集がある。小学校卒業の記念である。それには想い出が一杯詰まっている。中でも、今は亡きT君の一文、野球大会での郡優勝の場面が感動的である。粗末な用紙、綴紐も紙、ガリ版刷り。物資の無い時代とともに苦勞した仲間が懐かしい。これは恩師のM先生が、50年間、大切に保管されていたものである。師の慈愛のありがたさに心で合掌した。

「ハイツ、軍国主義から民主主義に変わりました。」と答えた。戦後の嵐のような変動の中で、先生方自身戸惑いながら私たちに新しい時代に生きる道を示してくださったに違いない。教科書の戦争に関する記述が取り沙汰されているが、「歴史書は偽造できない。歴史は偽造できない。」のである。戦争の悲劇は決して風化させてはならない。

戦争の傷痕ほどの家庭にもあった。我が家では長兄が戦死した。16歳の若さである。届いた遺骨を親戚が集まって確認、遅れて来た祖母が皆の見守る静寂の中で、遺骨を胸に、何度も何度も長兄の名を呼びながら泣き崩れた姿は今も脳裏に焼き付いている。小学一年生の私には本当の悲しみはなかった。しかし、大人になるにつれ、この情景はますます鮮明になり、怒りがこみ上げてくる。戦争ほど残酷なものはない。

私も初孫に恵まれて3か月、我が家は今、この小さな大将を中心にまわっている。希望に溢れ、周囲までも引き込んでしまう魅力、生命力、不思議でしようがない。このごろは視線もはっきりして、笑い、口をとがらせて何かを語りかけてくる。21世紀はこの子らの時代、生命尊厳の心豊かな世紀であって欲しい。



いっぱい遊んで大きくなってね。

白石爽真くん  
(神崎)  
平成12年6月8日  
父 明 則 さん  
母 厚 子 さん



何でも探検隊のこうくん。これからもお姉ちゃんと仲良く遊んでね。

濱田洸輔くん  
(南黒田)  
平成12年6月27日  
父 淳 司 さん  
母 麻 紀 子 さん



お友だちとたくさん遊ぼうね!

田島海彩ちゃん  
(社宅)  
平成12年6月17日  
父 浩 一 郎 さん  
母 直 美 さん



笑顔のすてきな祭里ちゃん。いつまでも笑顔を忘れないでね!

日野祭里ちゃん  
(北黒田)  
平成12年6月7日  
父 誠 さん  
母 恵 美 子 さん



抱っことお散歩が大好き。すくすく元気に育ってね。

青木千尋ちゃん  
(社宅)  
平成12年6月25日  
父 郁 夫 さん  
母 弘 美 さん

7月、1歳になられるお子さんの写真を募集しています。背景が明るい写真をお持ちのうえ、6月8日(金)までに役場総務課秘書広報係へ(先着5名まで)。